

【財務運営の実績に関する評価】

令和3年度 事業経営評価

団体名	大阪市高速電気軌道（株）	所管所属名	都市交通局
-----	--------------	-------	-------

中期目標	中期目標期間
	令和2年5月1日から令和8年3月31日までの6年間

財務運営の実績に関する評価(財務運営に関する事項)

年度 計画 達成 状況	指標 I	営業損益 (単体)					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7【最終】
	目標値	—	23億円	120億円	150億円	210億円	410億円
	実績値	△80億円	35億円				

専門家の評価	公認会計士、税理士その他の財務に関する専門的な知識及び経験を有する者の意見
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、企業活動に重大な影響を及ぼしている中、35億円の営業利益を出したことは一定の評価ができる。</p> <p>2021年12月における営業利益の年度見通しが23億円に対して、営業費用の削減等によりコミットメントできたことも評価したい。しかしながら、引き続き事業への影響が見込まれることから、持続可能で安定した財務運営を努めていただきたい。</p>

市 の 審 査	中期計画に対する進捗状況 【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果		<p>対象事業活動の指標としているホーム柵の設置やエレベーターの増設など「人にやさしい地下鉄」としての安全対策、パリアフリーに対する取組みを着実に進めながら、鉄道の運輸収入の回復、営業費用の削減に一層努めしたこと等によって35億円の営業利益となり、年度計画で掲げた目標を上回る利益を確保した。</p> <p>よって、当該団体の自己評価は妥当であると考える。</p>

市の評価	当該事業年度の指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい事業環境が継続する中、年度計画における目標を上回る利益を確保しており、安全・安心、利便性向上のための投資を安定的かつ継続的に行うことができる財政基盤が確保されているものと考える。</p> <p>今後も同感染症の影響に注視する必要はあるが、引き続き、財政基盤の確保に努めるとともに、本業である鉄道事業を安定的に運営し、その価値を向上させる経営を推進することによって、大阪経済の成長に資することを期待する。</p>